



丸亀市立城坤幼稚園

城坤幼稚園の子どもたちは安心感を基盤に遊びこむ中で、気付いたり考えたり友達と協力したりする実体験を積み重ねながら、知識や技能の基礎だけでなく、思いやりやコミュニケーション、よりよくしようとする意欲などが育まれ、充実感を味わっています。毎月行っている避難訓練では、一人一人が自分自身で見聞きし安全に行動することや、小さい友達や困っている友達に声をかけたり、手を差し伸べたりする姿も見られるようになっています。



尽誠学園高等学校

「尽誠学園高等学校JRC部 ～高校生から献血への意識を～」

JRC部は活動の中で、街頭募金運動や、献血の呼びかけを行っています。また、学校内でも若いうちから献血への意識を持ってもらいたいという思いから、本校の文化祭である「誠華祭」の際に献血を行っています。JRC部が筆頭となり献血を呼びかけ、当日は63名の方に献血への協力をいただきました。近年、若年層の献血者が減少傾向にある一方、少子高齢化が進み献血の安定供給に支障をきたす恐れがあります。若いうちから献血に触れ、理解と協力が得られることはとても意義があることだと感じます。



令和4・5年度 青少年赤十字研究推進校 高松市立亀阜小学校



令和4・5年度は、高松市立亀阜小学校が青少年赤十字研究推進校として指定されました。

同校では、日常生活での実践活動を通じ、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的として、研究主題を「問いをもち、広い視野に立って語り合い、新たな価値を見いだせる資質・能力の育成 ～子どもが問う なかまづくり～」と設定し、取り組んできました。8月1日に香川県文化会館にて実践発表を行いました。



研究主題

問いをもち、広い視野に立って語り合い、新たな価値を見いだせる資質・能力の育成 ～子どもが問う なかまづくり～

人権・同和教育

5年生は、ハンセン病問題について学習しました。どのように向き合い、差別をなくすために自分ができることについて考え、話し合いました。



こころタイム

毎月第2火・水曜日の「朝の活動」の時間に取り組んでいます。一人一人が互いを信頼し共感し合える人間関係を作ることを目的としています。自己表現する楽しさや友だちの気持ちを共感的に受け止める大切さに気付きました。



マスコットキャラクターづくり

代表委員会に「学校を盛り上げるためにできることを考えたい!」という議題が提案されたことがきっかけで、全校生にデザインを募集しました。みんなで投票、精選してマスコットキャラクターが生まれました!



かめっ子ともだち委員会の取り組み

コロナ禍をきっかけに、全校生や地域の人たちみんなの絆を深めるために結成しました。全校生が楽しめるような企画だけでなく、全国的な問題になっていた「コロナ差別」を取り上げた集会も企画しました。

また、給食の時間に頑張っているなかまを紹介する「かめほめタイム」を実施しています。ボランティア活動に積極的に取り組んでいるなかまを紹介するだけでなく、担任の先生がクラスの良いところ、頑張っているところを紹介するなど、先生と子どもたちの絆を深めるような企画も行っています。



こだま宣誓式

いじめに対する意識を、教師も子どもたちも高めることを目標に、2007年に当時の在校生と教職員で「こだまの誓い」が作成されました。それ以後、毎年4月末に開催しています。6年生から1年生に「こだまバッチ」が渡され、転入教職員やPTAの代表の方も宣誓を行います。



こだまなかよし活動

こだまの誓いについて考える会(全校人権集会)

「こだまの誓い」を唱えるだけでなく、誓いの意味を考える機会を設けました。全校生で考え直すことができ、意識が大きく変わりました。



感謝状が贈られました

研究推進校としての活動に対して、日本赤十字社香川県支部支部長から感謝状が贈られました。この感謝状は、毎年、発表校に敬意を表し、賛助奉仕団の横山顧問が気持ちを込めて全文を毛筆で手書きしているものです。令和5年8月1日に浅野事務局長から久保直人校長に贈呈されました。

